

「七十七パートナーズ第1号ファンド」の組成について

株式会社七十七銀行（頭取 小林 英文）は、2022年1月4日に、七十七パートナーズ株式会社（社長 今野 晃）とともに「七十七パートナーズ第1号ファンド」（以下、「本ファンド」といいます。）を組成しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

2021年12月、当行は、従来以上に踏み込んだコンサルティング機能を発揮し、地域の持続的な発展を「地域のヒト・モノ・カネ」で支えるプラットフォームを構築していくため、経営権取得を伴う投資（マジョリティ投資）およびハンズオンによる伴走型の経営執行支援を行う七十七パートナーズ株式会社を設立しました。

本ファンドは、人口減・少子高齢化が進むなかで、事業承継に課題を抱える地域企業に対し、その円滑な承継実現を支援するものです。

当行グループでは、本ファンドの活用を通じて、地域企業の課題解決および地域産業の維持等に貢献してまいります。

記

1. 本ファンドの概要

正式名称	七十七パートナーズ第1号投資事業有限責任組合
総額	20億円
設立日	2022年1月4日
出資者	無限責任組合員（GP）：七十七パートナーズ株式会社 有限責任組合員（LP）：当行
存続期間	10年間
投資対象	事業承継に課題を抱える企業 等

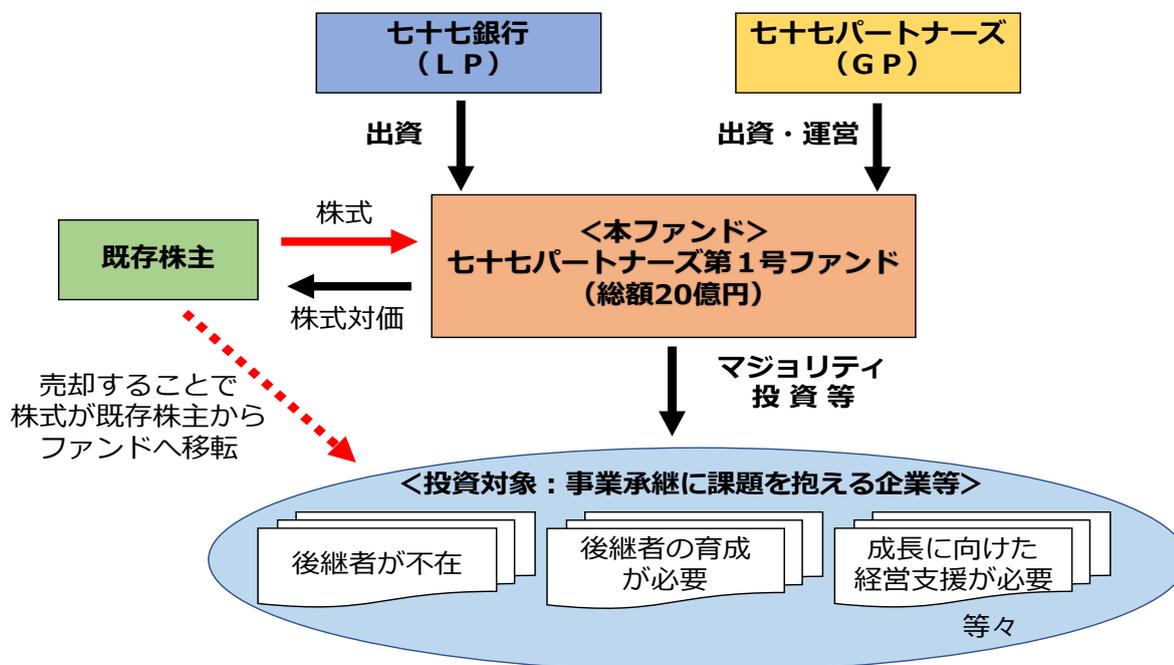
- 1 -



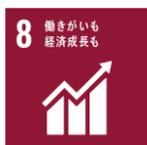
2. 七十七パートナーズ株式会社の概要

設立日	2021年12月9日
所在地	仙台市青葉区中央三丁目3番20号
代表者	今野 晃（七十七キャピタル株式会社社長兼務）
資本金	100百万円
株主	当行（100%）
事業内容	ファンドの組成・運営、投資先に対する経営執行支援

3. 本ファンドのスキーム



(関連するSDGs)



SDGs (Sustainable Development Goals)

2015年9月に、国連に加盟する全ての国が全会一致で採択した国際目標であり、17のゴールと、169のターゲットから構成されています。
七十七グループは2020年7月に「七十七グループのSDGs宣言 ～もっと、ずっと、地域と共に。～」を表明し、SDGsに対する取組みを更に強化するため、2021年10月に「SDGs実践計画」を策定しました。

以上